

平成31年（令和元年）度 全国学力・学習状況調査結果より

令和元年10月
京都市立西京極中学校

保護者の皆様へ

今年度、3年生の4月に行われた全国学力・学習状況調査の個人別調査結果を本日返却いたしました。お子様の結果を見ていただき、得点だけでなく、どのような問題には対応できる力がついていて、どのような問題において力をつけていく必要があるのか、現状を把握していただけたらと思います。

まず、生徒質問紙の結果から見られるプラス面（成果）として、「自分には、よいところがありますか」「将来の夢や目標を持っていますか」について肯定的に答えた生徒が全国平均を上回り、昨年度の3年生と比較しても大きく上昇しました。また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「人の役立つ人間になりたいですか」などについて肯定的に答えた生徒の割合も全国平均を上回り、自己肯定感、自己有用感を感じる、また、自己実現に向けての意識や、他者に対する思いやりをもつことができている生徒が多いと思われます。

学校生活の面でも「学校に行くのは楽しいと思いますか」「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか」などの項目で全国を上回り、さらに、これらの質問に対して否定的な回答が少ないとから、授業の中で他者とのかかわりをもとに、自分の考えを伝えたり、深めたりすること、よりより学級にしていこうとすることに対して前向きな様子が見られます。

しかし、課題も見えてきました。特に読書や新聞を読むことに対して肯定的に答える回答が低く「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」「読書は好きですか」について、全国を大きく下回りました。学校の取り組みとして朝読書を続けていましたが、継続して本を読もうとする時間が少ないように思われます。読書は、新たな自分を知るきっかけにもなるすばらしいものです。是非、人生に影響を与えるような一冊に出会い、多くの生徒に読書のすばらしさを実感してもらいたいと思います。また、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えことがありますか」について、全国を下回っており、他者に対する思いやりはあるものの、実際に地域や住んでいる周りの人に対して行動に移すことが難しいと感じているようすが見られます。

次に、今回行われた国語、数学、英語の調査結果についてです。いくつかの課題が見られ、今後の改善に向けた取り組みが必要です。

【国語】

グラフから読み取ったものを文章にして書く問題について、無回答の生徒が少なく何かを書こうとする姿勢は結果からも見られました。また「～の中から1つ選ぶ」問い合わせについては正答率が高くなっていました。しかし、「合うものすべて答えなさい」などといった形式の問題は正答率も低く、深い読解力が必要な問い合わせに対して課題が見られました。また、封筒の書き方についての問い合わせに無回答の生徒が多く見られました。

【数学】

調査の前後の時期に、単元テストを行っている分野（数と式、資料の活用）に対して、正答率が高くなっていました。また、自主ノートを継続的に取り組んできたことによって、数学的な技能や数学的な知識・理解の観点において、学力の定着が見られました。しかし、調査以前に学習した時期が離れている分野（関数、図形）について正答率は低くなっていました。また、学んだ基礎・基本を別の課題で活かす問い合わせについて課題が見られました。

【英語】

文を作ること以外の無回答率は低く、自分の知っている英語で回答しようとする姿勢をもつ生徒が、これまで行われてきた定期考査や学習確認プログラムに比べて増えてきました。しかし、短文は作れるが、つながりのある文を作ることに対して難しさを感じていたり、まとまりのある文を読む、聞くことでその内容を理解することを苦手に思う生徒が多く、正答率が低くなっていました。

生徒質問紙の中で「国語・数学・英語（それぞれの教科で質問は1つ）の勉強は大切だと思いますか」「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」の質問に対して肯定的に答える生徒が全国平均を上回っていましたが、「新聞を読んでいますか」と答えた生徒が非常に少なかったため、今の学習が今の社会にどうつながっているのかを実感できる機会を授業や生活の中で増やしていく必要があると思われます。

生徒のみなさんへ

3年生は返却された個人別調査結果を細部まで見て、成果と課題を洗い出し、課題克服のために何が必要かを考え、進路実現に向けサポートをかけてほしいと思います。

1、2年生は日々の授業と家庭学習を大切にし、基礎学力をつけるとともに、難しい問題や苦手科目にも挑み、解決・克服する経験を重ね今から力をつけていきましょう。